

明るい希望ある未来への前進

三笠市長 西城 賢策

市民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日ごろから市政に対する温かいご支援とご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、国際的には、ロシアがウクライナへの特別軍事作戦という名の侵略を行い、世界に衝撃を与えました。国際情勢の不安定さが一段と増した年でもあり、平和を守ることの尊さと他者を思いやる気持ちの大事さに思いを馳せる1年であったのではないかと思います。一方、国内では、史上最長の長期政権を築いた安倍元首相が、凶弾に倒れる残念な事件が起きました。どんな背景があるにせよ、言論を暴力によって封じ込めようとする行為には、断固立ち向かわなければなりません。

このように、不安定な情勢のときこそ、私は、市民の皆さまの将来に不安のないまちづくりに取り組み、市民益を第一として行動することが大事だと考え、経済対策等に取り組むとともに、本市の未来を見据えた4大プロジェクトを遂行してまいりました。一つとしては、三笠高校が昨年10周年を迎え、地域に受け入れられながら、高校生レストランを運営するとともに、各種コンクールで優秀な成績を収め、多くの市外客を迎え、市の知名度を高め、交流人口の増加と経済効果を発生させてくれています。

また、三笠ジオパークは昨年、2回目の再認定審査を受けました。これまでの取り組みが高く評価された結果であり、今後さらにジオパーク全体としてのブランドの向上を図るとともに、更なる経済効果の引き出しと皆さまに理解され親しまれる事業を展開していきたいと考えています。

イオン農場では、本市と㈱クラダシ並びにイオンアグリ創造との連携協定に基づき、都市部の大学生が農業研修に来るなど、三笠メロンの魅力を都市住民に発信するとともに、農産物のPRと交流人口の増加に努めることができました。

そして、石炭地下ガス化は、CO₂の地下固定実験が一定の成果を挙げるとともに、国の機関から委託を受け実施している水素利活用可能性調査もまとめの段階にきており、次のステップに向け歩みを進めているところです。この事業を着実に進め、新たな産業を創出し、雇用の安定化や人口減少の歯止めにつなげ、安心して暮らせるまちづくりを目指して挑戦を続けていきたいと考えています。

現状維持は、衰退への道と考えています。現状に座することなく、新たな視点で高みを目指し、これまで育ててきたマチづくりの芽が、今年は一斉に芽吹かせられるように、取り組んで参りたいと考えますので、引き続き市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに本年が三笠市にとりまして、また市民の皆さんにとりましても、素晴らしい一年となりますことを祈念し、新年のご挨拶といたします。